令和４年５月１３日

保護者の皆様へ

新宿区立新宿中学校
校 長　　片倉　元次

年間指導計画と評価計画について

１　未来の社会でどんな資質・能力が必要か

今回の学習指導要領の改訂では、各教科等の目標及び内容が、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という育成を目指す資質・能力の三つの柱に沿って再整理され、各教科等でどのような資質・能力の育成を目指すのかが明確にされました。

２　指導と評価の計画

本校では、学習指導要領に示されている各教科等の目標と内容に基づき、生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、単元（題材）ごとに、どのような資質・能力をどこまで育成するのかを明確にするために具体的な観点別学習状況の評価規準を設定し、評価計画を示しました。【P. 4-5 参照】

３　各教科の学習評価

各教科の学習評価は、今回の学習指導要領においても、学習状況を分析的に捉える「観点別学習状況の評価」とこれらを総括的に捉える「評定」の両方について、学習指導要領に定める目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）として実施するものとされています。また、観点別学習状況の評価や評定に示しきれない生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況については、「個人内評価」として日々の教育活動の中で生徒に伝えることが重要であることが示されています。

（１）観点別学習状況の評価

①「知識・技能」について

各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価するとともに、それらを既有の知識及び技能と関連つけたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。

②「思考・判断・表現」について

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けているかどうかを評価する。

③「主体的に学習に取り組む態度」について

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。

＜主な評価方法＞

・ペーパーテスト
単元（題材）ごとや１単位時間ごとに行う小テスト、中間や期末テストなどの定期テストなど。

・観察や対話による評価
活動の様子の観察（ふりかえりシート）、ノート、面接などを通して行う。

・作品の評価
作文、小論文、レポート、作品などを通して行う。

・実演（実技）の評価
口頭発表、演奏、演技、操作などを通して行う。

Ａ…	十分満足できる	実現状況	**８０％以上**
Ｂ…	おおむね満足できる	実現状況	**５０％以上**
Ｃ…	努力を要する	実現状況	**５０％未満**

（２）評定

５…「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
実現状況　90%以上
４…「十分満足できる」状況と判断されるもの
実現状況　80%以上 90%未満
３…「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
実現状況　50%以上 80%未満
２…「努力を要する」状況と判断されるもの
実現状況　20%以上 50%未満
１…「一層努力を要する」状況と判断されるもの
実現状況　20%未満

４　特別の教科　道徳について

道徳科の授業における本人の「学習状況」や「成長の様子」について文章で記述します。生徒がより多面的・多角的な見方へ発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか等を重視します。本校では、年度末に記載します。

５　総合的な学習時間（チャレンジタイム：ＣＴ）について

本校では｢生き方を学ぶ｣というテーマで各学年の発達段階に応じた学習を行っています。情報の集め方、調べ方、まとめ方、体験、見学、報告や発表などを重視した学習を計画的に実施します。そして、「課題設定の能力」「情報収集と活用能力」「コミュニケーション能力と表現力」を評価の観点としています。通知表には学習内容を記載し、学習の過程における生徒の状況ついて記述します。

６　総合所見

特別活動に関することや部活動など、生徒の学校生活全般について、また教科等の観点別学習状況の評価や評定に示しきれない生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について記述します。

７　観点別学習状況の評価例

（１）指導内容に基づいて評価方法を明確し、数値化して評価する方法。

指導内容	観点	主な評価方法				総括	実現状況
		定期考査	学習カード	行動観察	技能テスト		
知識	知識 技能	/100	/50		/50	/200	/400 Ａ～Ｃ
技能				/100	/100	/200	
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	/100	/50	/50		/200	/200 Ａ～Ｃ
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度		/100	/100		/200	/200 Ａ～Ｃ

（２）３観点に基づいて評価方法を明確にし、数値化して評価する方法。

観点	指導内容	主な評価方法				総括	実現状況
		定期考査	学習カード	行動観察	技能テスト		
知識 技能	知識	/50	/25	/25		/100	/200 Ａ～Ｃ
	技能			/50	/50	/100	
思考・判断・表現	思考力、判断力、表現力等	/100	/50	/50		/200	/200 Ａ～Ｃ
主体的に学習に取り組む態度	学びに向かう力、人間性等		/100	/100		/200	/200 Ａ～Ｃ

８　観点別評価から評定への総括例

（１）観点別評価の集計を行い、評定に総括する方法

観点	主な評価方法				観点別評価 実現状況	評定 実現状況
	定期考査	学習カード	行動観察	技能テスト		
知識・ 技能	/150	/75	/225	/150	/600 Ａ～Ｃ	/600 ５～１
思考・判断・表現	/200	/200	/200		/600 Ａ～Ｃ	/600 ５～１
主体的に学習に取り組む態度		/300	/300		/600 Ａ～Ｃ	/600 ５～１

（２）観点別評価を数値化して、評定に総括する方法

観点	単元名			観点別評価 数値化	評定
	体つくりの運動	陸上競技	球技ゴール型		
知識・ 技能	Ａ(AA)	Ｂ	Ｃ	5+3+2=10	(10+9+9)/3=9.3 評定　３
思考・判断・表現	Ａ	Ｂ	Ｃ	4+3+2=9	
主体的に学習に取り組む態度	Ａ(AA)	Ｂ	Ｃ(CC)	5+3+1=9	